

鳥取 会報

第 28 号

2014年 1月



目次	表紙	講習会に参加して	14~15
新年の挨拶（連合会会長）	2	シルバー人材センターの紹介（大山町）	16
新年の挨拶（鳥取労働局長）	3	会員の広場（鳥取市、倉吉市）	17~18
理事長の抱負	4~9	趣味のひととき（米子広域、北栄町）	19~20
平成25年度事業実施状況	10~11	門松設置	21
平成25年度SP事業実施状況	12~13	会員名簿等	裏表紙

公益社団法人 鳥取県シルバー人材センター連合会

新年のごあいさつ



公益社団法人 鳥取県シルバー人材センター連合会

会長 宇野 浩 己

新年明けましておめでとうございます。

シルバー人材センター連合事業につきまして皆様の暖かいご支援とご協力を賜わり、着実に事業活動が進展していますこと心からお礼申し上げます。

このようにシルバー事業が発展していますのは、会員をはじめ関係者皆様の日頃からの活動を通して、高齢者の「福祉の受け手から社会の支え手へ」という基本理念が、地域社会の共感を呼び幅広く支持・活用されているからであります。

さて、昨年九月の全国調査によりますと、高齢者人口は三千一八六万人となり総人口の占める割合が初めて二五・〇％に達し、まさに四人に一人が高齢者となり過去最高を記録いたしました。

高齢者の就業意欲は非常に高く、かつ、高齢になるほど就業実態や就業希望が多様化しており、それに応じた多様な形態での雇用・就業の場の確保が図られるようにすることが極めて重要となっております。

また一方、地域には高齢者向けの臨時的かつ短期的な仕事やその他軽易な就業にかかる仕事は存在しており、このような需要とそれを希望する高齢者の就業を適切に結びつける仕組みや施策が必要であることから、一般の労働市場の対応には乗りにくいこれらの任意的就業について、あらたな発想による就業対策として、シルバー事業を実施しているところであります。いよいよ、団塊世代が労働市場からの退出が始まり、その多くのサラリーマンが、これまで任んでいた勤務地から地方へ活躍の場を移しつ

つある中、これらのサラリーマンの活躍の場となるよう、地域の環境の整備と定住対策の実施が喫緊の課題となっております。

今後、更に進展する高齢社会の中にあつて高齢者の就業と活躍の場を企業のみを求めることには限界があり、高齢者自ら知識と経験を生かした活動の場を創出し確保していくことが一層重要となっております。

今や人生一〇〇年を前提とした社会構造に転換するためには、四分の一を占める高齢者を地域社会に包摂し、「居場所」と「出番」づくりが早急に求められております。シルバー人材センターは、就業を通して地域の人々との間に「顔の見える信頼感と助け合い活動」を提供し、地域社会に貢献して社会的な役割を全うしたいものであります。

最後になりましたが、皆様のご健勝と益々のご活躍を祈念し、新年のご挨拶といたします。



新年のごあいさつ



鳥取労働局長

矢澤 由宗

協会会員の皆様、新年明けましておめでとう
ございます。

新年を寿ぐとともに、皆様のご健勝をお祈り
申し上げます。

さて、鳥取県内の雇用情勢ですが、平成25年
11月の有効求人倍率は、0・97倍と、中国5県
で一番低い状況にあるとともに、全国平均を下
回った状態が平成23年10月から26ヶ月連続で続
いているところです。また、鳥取県が12月2日
に発表しました「鳥取県の経済動向」では、消
費は全体として弱い動きが続いており、生産も
低水準で横ばい圏内の動きが続いているものの、
投資は持ち直しの動きを続け、雇用は改善の動
きが強まっており、基調としては、なお持ち直
しの動きにあると公表されたところです。

しかし、引き続いている東部地区の電子部品

製造企業等の事業所閉鎖により、年末にかけて
大量の離職が発生するなど、一部の業種によ
っては、予断を許さない状況にあります。

このような先行き不透明となっている雇用失
業情勢の中、我が国は世界に類を見ない速さで
高齢化社会が進展しております。このように高
齢化が進む中で社会の活力を維持するためには、
経済が安定して発展するとともに、意欲と能力
のある高齢者が可能な限り社会の支え手として
活躍できるように、年齢に関係なく働くことで
きる「生涯現役社会」を実現する必要があると
ころです。

このため、鳥取労働局では、年齢を問わない
求人の募集指導を始め、希望者全員が65歳まで
働くことのできる雇用確保措置の導入指導、70
歳まで働ける企業の積極的普及、シルバー人材

センター事業の推進等により、高齢者が地域で
働ける場や社会を支える活動ができる場の拡大
に取り組んでいます。

中でも、シルバー人材センターにおかれまし
ては、高齢者の多様な就業ニーズに応じ、地
域社会と日常生活に密着した就業機会を確保、
提供し、併せて高齢者の生きがいの充実、社
会参加の促進による地域社会の活性化を図ると
いう重要な役割を果たしてきておられます。

今後、さらに高齢化が進むことにより、シル
バー人材センターの役割はますます重要性を増
していくものと考えます。

最後に、シルバー人材センターの益々のご発
展と会員の皆さまの益々のご健勝とご活躍をお
祈りいたしまして、新年のご挨拶とさせていただきます。



シルバー人材センター

理事長の抱負

公益社団法人

鳥取市シルバー

人材センター



理事長 西根 弘康

新年明けましておめでとうございます。皆様におかれましては、輝かしい新春を健やかに迎えのこととお慶び申し上げます。

シルバー人材センターを取巻く環境は、大きく変化をもたらそうとしています。高齢者等の雇用の安定等に関する法律や、派遣法の改正に加えて消費税の改正等に伴う改革。そして、25年度限りで廃止となる企画提案方式事業、それに代わり生涯現役社会活躍応援事業（仮称）による事業費として1連合・SC当たり二百万円の上乗せ補助が想定されています。公益法人化による規制に加えて、改革の波が今年から押し寄せてまいりますので、今からそれに対応していく準備が必要とされています。また、定年制の延長等で、今後はセンター会員の高齢化が進むことや会員の減少が想定されますので、今年は、連合会や各センター間の連携を今まで以上に密にして取り組む必要があると意を新たにしている次第です。

当センターは、今年も安全適正就業に重点を置き

ながら、行政機関とも連絡調整を密にして、環境整備等社会参画にも力を注ぎ、地域との信頼関係を築いてまいり所存です。

関係各位におかれましてはお元気で、更に午年にあやかり華やかな存在感のある一年となりますようご祈念申し上げて年頭のご挨拶とさせていただきます。



副理事長 後藤 巖

社団法人

米子広域シルバー

人材センター

新年あけましておめでとうございます。

シルバー連合会会員・役員、事業関係者の皆様におかれては、お健やかに新年をお迎えのことと存じます。地域の皆様のご支持と米子市・日吉津村など関係機関のご支援・ご協力により、不断の事業運営が図られておりますことを厚くお礼申し上げます。

さて、運営基盤の平成二十五年度補助事業は、「企画提案方式事業」が通年採択された関係で二十四年度に比べ若干増額となりました。しかし、会員数の減少傾向は依然続き、地域の需要も限られて極めて厳しい状況が続いております。

そこで、シルバー人材センターに寄せられる期待と役割がより重要性を増すなか、例えば地域の高齢者等が必要とされる一寸した生活援助サービス、ワンコイン・サービス事業『ちよっこし おたすけ事業』も関係会員各位の取り組みにより、すこしずつ

拡がりがあります。また今後、「介護保険制度」から「要支援者」向けサービスが分かれ、一般の高齢者向けサービスが分かれ、一般の高齢者向け「介護予防」サービスと合わせて再構築のうえ、市町村事業に移行するとされる計画について、シルバー事業がその介護予防プログラム実施の受け皿になることが非常に有効であると識者の提言もあります。

四月からは「公益社団法人」に移行いたします。事業の透明性と公益性をさらに発揮し、「自主・自立・共働・共助」の基本理念と主体的な「会員」の就業及び社会参加活動による「生きがい就業」事業が、高齢者も地域の「担い手」の一つであり、シルバー事業が明るく活力に満ちた地域社会づくりの一助となるよう、取り組んでまいりたいと思っております。会員各位や地域の皆様のご引き続きのご理解・ご協力をお願い申し上げます。

事業関係者の皆様のご健勝とご活躍を祈念申し上げます。新年のご挨拶といたします。



理事長 山脇 誠

公益社団法人

倉吉市シルバー

人材センター

新年あけましておめでとうございます。皆様におかれましては、新春を健やかにお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年は、景気低迷の暗く長いトンネルから、ようやく光が見え始めてきた一年でした。今年こそは明るく、活気ある年になるよう期待しているところで

昨年5月末に理事長に就任し、早や半年余りが経過しました。就任当初はまったく未経験の分野で、まずは現場からの思いもあり、草刈、草取り現場、剪定現場、リサイクルセンターなど等、多くの現場を訪問させていただきました。真夏の炎天下、7、8台の刈払機が一斉にエンジンを噴かして手際よく作業される現場、10人程で黙々と剪定される現場を見て、これは若い人でも敵わないと感心した次第です。

このように、健康で働く意欲のある高齢者の方は益々増加していますが、シルバー人材センターの現状は、会員数の減少、契約金額の減少が続いております。増加することが、シルバー人材センターの事業目的とは思いませんが、地域社会に存在感をアピールするためには重要なことだと思えます。

会員の皆さま、役職員の皆さまがこれまで築いてこられたシルバー人材センターの地域社会での確たる地位をもとに、さらに地域から愛され、利用者から信頼されるセンターを目指して、微力ではありますが取り組んで行きたいと考えております。

この一年が、関係者の皆さまにとって明るい年になりますことを祈念し、新年のご挨拶といたします。



公益社団法人 境港市シルバー人材センター



理事長 西村 岩市

新年あけましておめでとうございます。皆様には、輝かしい新春をお迎えのこと、お慶び申し上げます。

公益法人二年目の経営体制の下でも、その厳しさは現状の明るさのない経済環境において、シルバー人材センターの運営及び収支は、今まで以上に厳しいことが確実視されます。センターのよりの確な運営を行うべく会員並びに役職員が新たな意識の改革をうながし、各自の知識や経験を活かして就業することで自身が充実感を得るとともに、より強く地域との結びつき、活力ある地域社会を創っていく役割を考えるべき年と思えます。

シルバー事業の「自主・自立・共働・共助」の基本理念のもと会員の就業により、高齢期の人生を地域社会に関わる主体的な働きにより、やりがいを実感する「生きがい就業」に徹し、近隣地域の諸団体との交流を基に参考とし、地域高齢者はもとより多様な年齢層と供に、センターへの地域の理解を深め、地域社会の多様な仕事の需要を再把握し、就業機会の拡大、充実を図るべき年と思えます。

高齢者とはいえ、仕事を完美するための能力の再開発・技術の研鑽は重要であり地域からの仕事発注に對しての完全な対応こそが、私たちの使命です。新しい年明けとともに、地域関係機関にシルバー人材センターの置かれてる現状・立場を再認識いただき、実りある一年となることを念願し、会員各位のご理解・ご協力のもと、鋭意努力することを誓い、

新春のご挨拶といたします。

公益社団法人 南部広域シルバー人材センター



理事長 安達 幸男

新年明けましておめでとうございます。皆様には、お健やかに新春をお迎えのこととお喜び申し上げます。

昨年は、天変地異による自然災害が多発し、厳しい年となりました。今年は穏やかで明るい年であってほしいと願っています。

当センターは、昨年四月に「公益社団法人」に移行をしました。今後、より公益性を重んじ地域社会の活性化に貢献できるよう努めてまいります。

本年も、シルバー人材センターを取り巻く環境は、国の補助金が二度目の「事業仕分け」により三分の一という大幅な削減を受け、また景気もアベノミクスによる効果が地方や中小企業までには及ばず、これ以上の補助金の削減は、就業機会の確保、拡大など事業運営に困難をきたす状況が予想されます。

一方、団塊世代が六十五歳以上の高齢者に達し、高齢者人口が過去最高となり、高齢者の「生きがいづくり」や地域の日常生活に密着した、就業機会の確保、提供をするシルバー人材センターの果たす役割は益々重要となっております。

派遣事業については、去る十二月十三日、厚生労働省が、改正骨子案「派遣三年の上限廃止」により企業の継続利用を可能とする提示を行い本年の通常国会に提出を目指すとのことです。早期法案の成立

を望みます。

この厳しい情勢を問題意識をもって課題の改善に取り組み、安全安心なシルバー人材センターを築くことがシルバー人材センターの基幹をなすものであり、地域社会への貢献につながって参ります。

皆様のご協力をお願い申し上げます。

終わりにになりましたが皆様のご健勝、ご多幸を祈念申し上げ挨拶いたします。



公益社団法人 智頭町シルバー
人材センター

理事長 小林 實夫

新年明けましておめでとうございます。

県下会員の皆様には健やかな新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年国においては、「生涯現役社会の実現に向けた就労のあり方に関する検討会」の報告がとりまとめられました。

報告の中では、「団塊の世代」が二〇一二年から六十五歳を迎え、生活の場がそれぞれの地域に移りこれらの人が地域で活躍できる環境の整備が必要であること。

「高齢者等の雇用の安定等に関する法律」の改正により六十五歳までの雇用確保は、強化されたがそれ以降の働く環境の整備が不十分であること。

地方と都市近郊の急速な高齢化のため生産年齢人口の減少により現在一人の高齢者を二・六人で支えている社会構造が二〇六〇年には、一・二人を支える社会構造になること等様々な課題が報告されている。

ます。

これに平行して、国は、平成二十六年予算において、生涯現役社会活躍応援事業等に概算要求していますが、中身については、就業機会の拡大、会員の拡大を求めています。

しかしながら、求められているのは、従来から取り組んできたことでもあり今更という感があります。小規模シルバーでは、これに高い目標設定をして達成していくことは、非常に困難であります。

こうした情勢の中から、本年は、他シルバーと比較して低い就業率を改善するため、公共事業の確保、福祉関連事業の開拓を行い会員確保と就業率の拡大を目指したいと考えています。

最後に皆様のご健勝と益々のご活躍を祈念して年頭のご挨拶とします。



公益社団法人 岩美町シルバー
人材センター

理事長 谷口 幹彦

新年あけましておめでとうございます。

皆様におかれましては、輝かしい新春をお健やかにお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年は、会員、役員、発注者各位、及び行政機関各位の温かいご支援とご協力のお蔭で、厳しい状況ながらも、着実に事業経営ができました。あらためて厚くお礼申し上げます。

多くの課題をかかえる中で、開設以来、実績を積み上げてきました当シルバーも、契約額におきまして減少傾向に転じ、二十五年度も十一月末現在、目

標額に到達していない現状であります。当シルバーも、他シルバーと同様、危機的な状況にきていることを実感しております。

会員数は、平成二十一年度以来減少を続け、現在一六七名となり、中でも女性会員の比率は約二十六％であり、除草、清掃作業に従事していたたく人材不足が深刻な問題となりつつあります。

会員の拡大は、多様化した発注者のニーズに応えるのと同時に、受注の確保、拡大していく重要な要素となります。今年も、受注の確保、新規会員の入会推進、更には、新たな受注の掘り起しのため、一層努力していく所存です。

センターの基本理念である「自主・自立・共働・共助」により、従来の事務局主導から会員主導へと転換し、会員一丸となって事業推進を展開していくことを誓い、年頭のご挨拶といたします。



公益社団法人 湯梨浜町シルバー
人材センター

理事長 足立 春人

初春を皆様と共に迎え、お慶び申し上げます。本年が良い年でありますよう祈願いたします。

湯梨浜町シルバー人材センターは、昨年四月に社団法人から公益社団法人へと認定されて組織の名称が変わりました。これを機に今まで以上に事業の公益性を高め、会員の就業に努めたいと考えております。

皆様もご承知のように、近年特に少子高齢化が進み、働く若者が減少し、日本の経済を支えるために

は、六十歳以上の方々の活躍が今や不可欠なものとなっており、従って、今後私達シルバーに対しての作業の依頼も、広範多岐にわたってくるものと思えます。そこに皆様が今まで培ってこられた豊富な経験や技術また知識や技能を発揮することのできるものだと確信いたしております。

しかしそれには先ず、健康であることが第一の条件となります。

健康には、肉体的健康と精神的健康の両面があります。昔の諺に「心身一如」という言葉がありますが、「心も体も」両方共に健康で作業に集中できることが、ご本人はもとよりご家族さらにシルバー人材センターにとっても嬉しいことだと思います。

今年は特に事故のない良い一年でありたいと願っております。



公益社団法人 琴浦町シルバー人材センター

理事長 田中 明

新年明けましておめでとうございます。輝かしい平成26年の新春を健やかに迎えのことと、お喜び申し上げます。

シルバー人材センターを取り巻く環境、経済情勢はますます厳しい状況となっております。琴浦町では、約3人に1人が65歳以上の高齢者となっております。地域が活力を持ち続ける社会であるためには出来るだけ多くの高齢者が元気で社会に活躍・貢献することが重要であり、シルバー事業の役割はますます増大しています。公益社団法人移行の2年目の26

年度も、町内全小学校区での見守り隊ボランティア活動を展開し、地域に貢献したく思います。

さて、4月から予定されている消費税率引き上げ、それに伴う配分金転嫁への値上げ、65歳定年制に伴う加入者の伸び悩み、受注の伸び悩み等シルバー事業を取り巻く環境は、大変厳しくなることが想定されます。

シルバー事業の基本理念である「自主・自立・共働・共助」を徹底し、地域の人々に必要とされる組織作りと会員増加に努めたいと考えています。

皆様に喜んでいただける事業を展開して、高齢者の生きがいの充実と福祉の増進を図るとともに、活力ある地域社会に貢献することに努めます。

終わりに、関係各位のさらなるご支援、ご協力を賜りますようお願いするとともに、皆様のご健勝とご多幸をお祈り申し上げます。



公益社団法人 北柴町シルバー人材センター

理事長 日置 勝彦

新年明けましておめでとうございます。本年もよろしく願います。

平成26年がシルバー会員の皆様にとって良い年でありませう、お祈り申し上げます。

当シルバーは、平成25年4月1日付けで公益社団法人に移行しスタートしました。このことにより公益社団法人としての組織づくりに専念するとともに、組織拡大、就業拡大に会員、役員、事務局が一体となって取り組み推進してまいりました。また、通年

的に配慮していた事故防止については、安全適正就業の徹底により重篤事故の発生を防ぐことができた。会員の安全は、最優先課題であり、大切な命が事故によって失われたり、身体に障害を負うことのないようシルバーが一体となって取り組みをすすめる、さらに強化してまいりたいと考えます。

新年度は、国の「高齢者の活用と活躍の場を創出確保する施策」が推進されることとなっており、さらなる取り組みの強化が必要となることが予想されますが、当シルバーとしても新しい事業計画、活動方針を十分に検討し、組織を挙げて充実した取り組みが出来るよう努力してまいります。同時に就業拡大・会員拡大・安全適正就業の徹底の3点を柱に事業展開し、「会員が生き生きと働ける公益法人」として又「地域に親しまれるシルバー人材センター」として発展するよう取り組みを推進する所存です。さらに、来年度に新たな単独事業に取り組む計画もあり一層活力のあるシルバー組織を目指したいと考えています。

皆様のご指導、ご鞭撻をよろしく願います。



公益社団法人 大山町シルバー
人材センター



理事長 近藤 昭夫

新年明けましておめでとうございます。会員の皆様におかれましては、お健やかに新年をお迎えのこととお喜び申し上げます。

地域会員のご支持と、大山町の関係機関の暖かいご支援と町民皆様方のご協力により、今日まで事業運営が図られていますことに厚く御礼申し上げます。日本経済は「アベノミクス」により向上しつつありとのこと。しかし、本年四月より消費税アップとなり、消費動向がどうなるか先行き不透明であります。

わが国は、六十五歳以上の人口割合が二十五%以上で、しかも団塊世代が二十六年度にすべて六十五歳に到達し、世界に類のない高齢化社会がさらに進んでいます。

団塊世代が地域に帰り、その受け皿としてシルバー人材センターでは会員拡大と就業機会拡大を期待されています。

しかし、我が大山町では人口一万八千人弱のしかも、農業主体の小さな町村のため会員が増加したとしても、それに見合うだけの就業機会があるのか非常に頭の痛いところであります。

就業機会を得る為には、会員自らの行動が必要であります。

本年より、適正就業の件もあり、今年度より派遣事業に取り組むため、事務手続きの最中でありませ

しかし、三年問題があり、果たしてどうなることになるのか、問題が山積しており、一つづつ解決し

なければと決意を新たにしているところです。今後とも皆さん方のご教授をお願い申し上げます。

一般社団法人 八頭町シルバー
人材センター



理事長 衣笠 春壽

謹んで、新春のお慶びを申し上げます。とともに本年も県内各シルバー人材センターの会員及び県シルバー連合会各位のますますのご健勝を祈念いたします。

世界でも国内においても社会情勢がますます泥沼化しているような、又近隣の国々との関係の複雑さに晴れ晴れとすることのない毎日を送っているような気がしております。それにも増して高齢化社会がかかえる困難な課題の、しかも複雑な状況の中で、私共シルバー世代はまことに厳しい、苦しい現実打ち負かされているような思いがあります。

ところが幸いというのでしょうか、八頭町も二十九%（全国二十五%）の高齢化率の中ではありますが、会員の皆様の力強さもまだまだ、昨年も八頭町シルバー人材センターでは、おかげさまで町行政の一層の支援を受け、今までに増して地域社会、町民の皆さんからの信頼、期待をいただいて、会員ともども、安心安全、元気健康でがんばっていられることを喜びとして過ごしたところでありませ

まして、会員の減少に大きな歯止めをかけることはできませんが、会員こそって培われてきた地域とのなじみや連携の強さを励みとして、またシルバーらしい会員相互の穏やかな連帯も軸としてがんばって

まいりたいと思うところです。

江府町シルバー
人材センター



理事長 山本 信男

新年明けましておめでとうございます。シルバー連合会・会員をはじめ、事業関係者の皆様には、午年の新春を健やかに迎えのこととお慶びもうしあげませ

さて、近年は、東日本大震災・巨大台風・豪雨災害等々自然災害が多く発生し、その上に政治・経済等々が混迷し世界中が、先が見えない状況となっております。

国内では、TPP・中国、韓国との領土権の問題、社会保障制度の未解決の難題等が山積しているなか、安倍ノミクス効果で日本経済に一寸の光明が現れはじめたと言われ始めていると言われておりますが、地方においては、いまだその実感とは程遠い現況です。

このような時、江府町シルバー人材センター理事長を拝命し、暗中模索の二年あまりを何とか無事にすごしてまいりましたことは、会員の皆様の努力のお陰と感謝いたしております。

当シルバーは、県下最小・最弱なシルバー人材センターと自覚しております。

しかしながら、逆に小さいがゆえに出来ることもあると考え「自主・自立・共働・共助」を基本理念にすえ、「小さくてもキラリと輝くシルバー人材センター」・「会員同士お互いの顔が見えるシルバー人

材センター」・「地域の皆様から重宝がられるシルバー人材センター」を三本の礎として今年も活動してまいります。

魅力あるシルバーセンターとすることは、極めて厳しい社会状況であります。今年が、明るくて魅力あるシルバーセンターとなることを信じ、各自健康に留意しながら、小さなことを積み重ねてまいります。

このことが、地域住民の皆様・会員の皆様にとって魅力あるシルバーセンターにつながることを確信しております。

今年も「安全・安心・明るく活力ある地域・魅力あるシルバーセンター」とするため、より一層、ご指導・ご支援を賜りますようお願い申し上げますとともに、東日本大震災・原発事故からの一日も早い復興・復旧・脱却を祈念しております。



日南町シルバー人材センター

理事長 和田 茂壽

新年明けましておめでとうございます。

町民の皆様方、当シルバー人材センター関係各位の方々今年こそ良い年になります様に、お互い連携を密にして、前向きに物事をとらえ、十分に健康管理に気をつけて多少の苦難はのり越えて行くようではありませんか。

当人材センターも、町当局の方針として、三年程前から社会福祉協議会と、合併する様要望が出ていました。当人材センターとしても何回となく理事会

に於いて協議致しましたが結論が出ず、県連合会から連合会長、事務局長二名の方が来町され、町長、関係職員、人材センターから理事長、事務局長共に同席し直接話し合い、結局合併の方向でほぼまとまり今年度から、心新に事業に取組む事になりました。

当人材センターも会員の減少、入会者も少なく従って就業延人員の低下に伴う受託事業収入の減額、等々。どうしても悲観的になりがちですが、今年度から社会福祉協議会と合併する事に依り、プラスの面として、代り映へのある行政支援、民間からの受注増も見込まれるものと期待しています。会員も利用者への要望に応え、高齢者世帯や、独居世帯には特に気をつけたい、親切丁寧な、対応する事に依り次回につながるものと想います。

何れにしても、不況の波にのみ込まれない様地域社会からも見放されない為には会員相互の連携を、より密にし健康管理に気をつけて少子高齢化に歯止めのかからない日南町に出来る限りの貢献をする事に依り、結局は私達会員もプラスになるものと思えます。どうか会員の皆様、本年も、事故防止に充分気をつけて共に頑張りましょう。

関係各位の皆様方、本年もよろしくおねがい致します。



三朝町シルバー人材センター

理事長 馬野 忠嗣



新年明けましておめでとうございます。会員の皆様共々元気で新しい年を迎えましたこと、何よりの喜びと致しております。

三朝町シルバー人材センター設立十二年目、例年のごとく大きな変化はないものの、景気の上向きの影響が作業委託が多面から増加しつつあります。これらに応じ、組織の拡充を目指すことが今年度の課題であります。

もともと、高齢化の中にある私共の組織ではありませんが、新入会員が増加し、人材センターの若返りが進むことも大きな課題であり必要な事項であります。また、女性会員が増えてまいりましたが、女性会員の業務対応が十分ではありません。身近な農作業、看護分野など委託事業の検討を進めたいと考えております。

総じて、民間委託分野の開拓が今後ますます必要になってくると感じております。

いづれにしても、会員の持つ能力・サービスを十分に発揮できる組織運営に努めたいと念じております。

新年に当たり、心身に協力・共助の精神で会員一同、元気で前進できますことを願って、新年のご挨拶といたします。

平成二十五年事業実施状況

○第一回理事会

平成二十五年六月十四日（金）倉吉体育文化会館において開催しました。審議された議案は次のとおりでいずれも原案のとおり承認されました。

- 議案
- 第一号議案 第八期役員選任について
- 第二号議案 定時総会について
- 第三号議案 平成二十四年度収支補正予算書（案）について



- 第四号議案 平成二十四年度事業実施報告書（案）及び収支計算書（案）について監査報告
- 第五号議案 平成二十五年収支補正予算書（案）について

第六号議案 理事からの委員会委員選任について
第七号議案 定款変更（案）について
本理事会の議案は六月二十八日開催の定時総会においても承認されました。

○第二回理事会

- 議案
- 第一号議案 第八期理事及び監事の選考について

○安全・適正就業推進委員会

平成二十五年六月六日倉吉市で開催しました。

- 議題
- 一 平成二十五年安全・適正就業推進事業基本計画（案）について
- 二 平成二十四年度事故（傷害・賠償）発生状況及び安全・適正就業パトロール実施状況について
- 三 平成二十四年度活動拠点センターの安全・適正就業の取組みについて

○第一回事務局長会議

平成二十五年六月二十八日（金）定時総会前に開催しました。

- 一 第一回都道府県連合事務局長会議伝達
- 二 鳥取労働局職業安定部職業対策課長補佐説明

○安全・適正就業研修会

安全・適正就業強化月間の一環として七月二十二日（月）倉吉市において各シルバー人材センターの役員・会員等八十一名の参加のもと開催しました。最初に会員及び役員から募集した「シルバー人材センター事業安全就業標語」の入選者の発表及び表彰が行われました。続いて当連合会宇野会長が「安全・適正就業について」と題して基調講演を行い、体験発表として（公社）境港市シルバー人材センター阿部事務局長が「境港市シルバー人材センター草刈作業の実状について」、（社）米子広域シルバー人材センター植栽班班長小笹傑氏からは「庭木の手入れに関する安全就業について」と題する体験発表がありました。

参加者全員改めて安全・適正就業の大切さを痛感する研修会となりました。



○第二回事務局長会議

九月十七日（火）倉吉市において開催しました。

- 一 第二回都道府県連合事務局長会議伝達
- 二 全国企画提案事業実務担当者会議報告
- 三 全国職業紹介担当者研修会報告

○第三回事務局

十月二十一日（月）倉吉市で開催しました。

議題

- 一 安全・適正就業推進委員会及び就業機会開発推進委員会への担当委員就任について
- 二 「職業紹介事業業務の運営に関する規程」の制定について



○鳥取県経験交流大会

十一月五日倉吉市において開催しました。

大会は、県内シルバー人材センター役員・会員、市町村の担当者の方々七十八名の参加のもと、来賓の石田倉吉市長、森本鳥取労働局職業安定部長よりご祝辞をいただきました。基調講演には（公社）全国シルバー人材センター事業協会前専務理事矢田員

寛文氏をお迎えし、「シルバー事業について思う」と題する講演を、講話として（公社）湯梨浜町シルバー人材センター理事長足立春人氏からは「シルバー就業と健康について」次に体験発表は「理事長に就任して思うこと」（公社）琴浦町シルバー人材センター理事長田中明氏、（公社）倉吉市シルバー人材センター理事長山脇誠氏が、「事務局長に就任して」と題して（公社）智頭町シルバー人材センター事務局長岡本甚一郎氏、（公社）湯梨浜町シルバー人材センター事務局長米村繁治氏、（公社）大山町シルバー人材センター事務局長近藤照秋氏から発表していただきました。来年の再会を確認し盛会のうちに閉会しました。



○生涯現役社会実現環境整備事業

本事業は、高齢者が健康で、意欲と能力がある限り年齢に関わりなく働き続けることができるよう高齢期における職業生活設計を高齢者が自ら行い、



- 当該設計を踏まえた働き方を検討・実施することができるようセミナー等を実施することにより生涯現役社会の実現に向けた高齢者の環境整備を図ることを目的とするものです。
- 七月十二日（鳥取市）四十名参加
 - 八月二十三日（倉吉市）二十二名参加
 - 九月二十日（米子市）三十名参加
 - 十月二十四日（鳥取市）四十一名参加
 - 十一月二十一日（米子市）四十二名参加

平成25年度シニアワークプログラム地域事業実施状況

シニアワークプログラム地域事業は、公益社団法人鳥取県シルバー人材センター連合会が活動拠点の協力を得ながら、多種多様な技能講習を事業主団体と連携を図り実施しました。

	講習名	実施地区	講習日程	講習日数	定員	申込者	受講者	修了者
1	経理事務補助①	鳥取	5/21～5/31	9	20	22	20	20
2	造園アシスタント	境港	5/28～6/7	9	15	12	12	12
3	経理事務補助	米子	6/4～6/14	9	20	21	20	19
4	造園アシスタント①	鳥取	6/11～6/21	9	25	29	26	26
5	造園アシスタント①	米子	6/25～7/5	9	25	20	17	16
6	福祉家事援助	米子	7/10～7/23	8	20	20	19	17
7	福祉家事援助	鳥取	7/24～8/2	8	20	15	15	14
8	調理アシスタント	鳥取	8/20～8/30	9	20	25	24	24
9	介護職員初任者研修	米子	8/22～10/17	24	20	14	13	11
10	室内装飾アシスタント	境港	8/27～9/5	8	15	14	12	12
11	調理アシスタント	倉吉	9/3～9/13	9	15	8	8	7
12	福祉家事援助	倉吉	9/9～9/19	8	15	11	11	11
13	介護職員初任者研修	鳥取	9/12～11/6	24	20	15	14	14
14	経理事務補助	境港	9/18～10/1	9	15	14	14	13
15	造園アシスタント②	米子	9/24～10/4	9	25	18	17	16
16	室内装飾アシスタント	倉吉	10/2～10/11	8	12	10	9	8
17	オフィスクリーニング	米子	10/8～10/18	8	20	11	9	7
18	経理事務補助②	鳥取	10/10～10/23	9	20	24	22	19
19	造園アシスタント	倉吉	10/15～10/25	9	13	14	13	12
20	フォークリフト①	鳥取	10/22～10/25	4	4	3	3	3
21	介護職員初任者研修	倉吉	10/22～12/11	24	15	9	8	7
22	フォークリフト倉吉	倉吉	10/25～11/15	4	5	3	2	2
23	造園アシスタント②	鳥取	10/28～11/8	9	25	24	22	22
24	フォークリフト②	鳥取	11/5～11/8	4	4	4	4	4
25	調理アシスタント	米子	11/12～11/22	9	20	20	16	15
26	フォークリフト①	米子	11/18～12/11	4	15	19	16	13
27	フォークリフト③	鳥取	11/19～11/22	4	4	3	3	3
28	室内装飾アシスタント	北栄	11/19～11/28	8	10	13	12	12
29	介護員スキルアップ及びガイドヘルパー	鳥取	11/26～12/6	9	20	14	14	14
30	フォークリフト④	鳥取	12/3～12/6	4	4	4	4	4
31	フォークリフト②	米子	12/6～12/21	4	15	10	9	9
32	ビジネスパソコン鳥取	鳥取	1/16～1/30	8	20	31	21	
33	ビジネスパソコン米子	米子	1/29～2/10	9	20	32	25	
					536	506	454	386

シニアワークプログラム地域事業における各種講習修了後管理選考・合同面接会を開催しました。

管理選考・合同面接会実施結果表

管理選考

	日程	面接会	参加企業	参加人数	うち講習修了者	採用数
東部地区	8月30日(金)	調理アシスタント	3	24	24	0
	11月6日(水)	介護職員初任者研修	3	14	14	1
	12月6日(金)	介護スキルアップ及びガイドヘルパー	6	18	14	0
中部地区	9月19日(木)	福祉家事援助	1	11	11	0
	12月11日(木)	介護職員初任者研修	4	7	7	0
西部地区	7月23日(火)	福祉家事援助	2	19	19	1
	10月17日(木)	介護職員初任者研修	5	14	11	6
	10月18日(金)	オフィスクリーニング	4	7	7	0
	11月22日(金)	調理アシスタント	2	14	14	0

合同面接会

	日程	面接会	参加企業	参加人数	うち講習修了者	採用数
東部	7月19日(金)	第1回東部地区合同面接会	9	63	12	2
西部	7月31日(水)	第1回西部地区合同面接会	11	70	15	3
西部	10月29日(火)	第2回西部地区合同面接会	14	65	16	3
東部	11月20日(水)	第2回東部地区合同面接会	8	122	24	3
中部	11月29日(金)	中部地区合同面接会	12	42	4	1



合同面接会



造園アシスタント講習

講習会に参加して

室内装飾アシスタント講習
に参加して



八頭町 富永睦子

平成25年度シニアワークプログラム地域事業として、十一月十九日から八日間実施されました。男性十一名、女性は私ひとりでした。北栄町シルバー人材センターが会場でした。



2013.

一日目は襖、障子、網戸等建具の構造について学びました。二日目からは三人一組が四班に分かれ、襖の張り替えの修理が二日間、次の二日間は障子の張り替え修理、六日目、七日目は網戸の張り替え修理でした。そして最終日の午前中に最後の締めくくりにして学習してきたことの質問、復習を行いました。

受講のきっかけは、知識・技能を基本から学びたいと思う気持ちからでした。最初は、男性の仕事かと思っていました。が、三種類の仕事に携わってみて女性もできると確信しました。

色々と見たこともない道具があり、使い方もわからない中でも参加された皆さんと楽しく相談しながら学ぶことができました。

一時間半もかけて通った甲斐がありました。

五八歳で退職し、今後の人生を考えたとき、有意義な講習に参加でき心から感謝いたします。

お世話になりました講師の先生方をはじめ関係者の皆様に厚くお礼申し上げます。ありがとうございました。



2013.11.20

造園アシスタント講習
に参加して



鳥取市 中嶋孝子

平成25年度シニアワークプログラム地域事業として、10月15日から9日間の日程で倉吉未来中心セミナールーム、(有)辰巳園、県立倉吉農業高校で座学実習が開催されました。

(有)辰巳園代表取締役加藤一巳氏を講師に従業員の方でその道のスペシャリストの方々に指導を受けることができ、とても充実した研修を受けることが出来ました。また、シルバー人材センターで活動をされている方、自宅で剪定をされている方など男性10名女性3名の参加者があり、受講者同士和気あいあいと楽しく交流することもできました。

受講の動機は新聞折り込みチラシです。偶然にも今回の講習を知り、今がチャンスとばかりにさっそく受講を申し込みました。55歳で求職中と条件も合、本当に良い講座にめぐり会えたと思います。東部在住ですが、開催場所が中部だったため場所がわからず右往左往することもありましたが、自己流で剪定していた自宅の庭をもっと素敵にしたい！プロのような剪定がしてみたい！と思い受講を決意しました。

初日「樹木の種類と性質及び年間管理」「病害駆除の種類と駆除方法」「樹木の整枝と基礎知識」「用具・器具の使い方」を受講。

2日目の「安全管理」では4班に分かれグループワークで危険個所のシミュレーションを行い、用具

・器具の使用することはあらゆる場面で危険を予測し、安全を確保していくことの意識付が大切であることを学びました。

実習では一人一人が樫の剪定を行い、中でも2m以上の樹木があり、脚立の建て方や枝の切り込み方の指導を受け、先生のアドバイスをもとに何とか合格を頂くことができました。

4日目は私が楽しみにしていた松の剪定です。古葉を取り除き、樹形を見ながらの剪定はとても難しく、完了するまでには時間を要しましたが、出来上がったときの喜びはひとしおでした。

あいにく実習期間中の天候がすぐれず、雨の日は(旬)辰巳園様の教室をお借りして、竹垣・庭造り・樹木の剪定等のビデオ鑑賞となりました。竹垣作りは、竹の扱い方を指導していただき、全員で竹垣を作成しました。その他に、ロープワークを学び皆さん何度も納得するまで行なわれ、私は家で姑や娘に披露するほど熱中してしまいました。

今回の講習を通して、樹形の美しさや手を加え整枝剪定を行い将来この木をどのように形作るかを考慮しながら木を整えることの大切さを学びました。折しも鳥取で全国緑化フェアも開催され、今までと違った視点で見ることができ、また今回雨の中での受講もありましたが、作業の難しさを感じながら充実した時間を過ごすことができました。今回の講習で学んだ知識を活かしながら就職、地域活動に生かしていきたいと思えます。

お世話になりました先生方をはじめ、関係機関の皆様、講習を企画し実習期間中お世話をいただきました鳥取県シルバー人材センター連合会の皆様に厚くお礼申し上げます。

介護員スキルアップ及びガイドヘルパー講習に参加して



鳥取市 近藤 志賀子

平成25年度シニアワークプログラム地域事業として、11月26日から9日間、介護員スキルアップ及びガイドヘルパー講習を鳥取県福祉人材研修センターで受講しました。受講生は、男性3名、女性11名で、介護職員初任者研修を取得したばかりのメンバーと、すでにヘルパーで活躍されているベテラン4名の14名が受講しました。

受講の動機は、初任者研修で学んだことをスキルアップし、移動介助の技術を習得したいと思ったからです。

講習は最初、座学で、全身障がい、視覚障がいについての基礎知識を学びました。それから、実際にグループに分かれて、実習をしました。2日目は、ベッドメイキング、シーツ交換、体位変換などを復習しました。休憩時間でも、みんなで教えあったりしたことは、自信にも繋がりました。3日目からは、車いすの移動介助、入浴、排泄、食事の介助などをスキルアップしました。7日目の援助者の健康管理である腰痛予防等の体操は、受講生全員が年齢を忘れるほどのはりきりようで楽しくリフレッシュできました。8日目は、久々の晴天に恵まれ、初めての屋外へ出て、視覚障がい者の移動介助の実習をしました。実際にアイマスクを装着して歩くと、段差やアスファルトの変形が怖いと思い、介助する側としては、樹木の枝、小石、雑草など危険を感じる所が

たくさんありました。立ち位置などの基本動作、情報の提供など視覚障がいの方の「目になること」の責任を改めて感じました。

今回の講習を通じて、一日一日の実習が自信となつたこと、また素敵な同期生の仲間ができたこと、心から感謝しております。12年後には、65歳以上が国民の3割を超える高齢化社会を迎えます。講習で学んだことを生かし、一人の人に希望を与えていける言葉かけのできるガイドヘルパーになつていきたいと思えます。すばらしい講師の先生方をはじめ関係機関の皆さま、お世話をいただきました鳥取県シルバー人材センター連合会の皆様に厚くお礼申し上げます。



シルバー人材センターの紹介

公益社団法人 大山町シルバー人材センター

事務局長 近藤 照秋

大山町シルバー人材センターは、平成17年2月に旧中山町、旧名和町、旧大山町のシルバー人材センターが合併して発足しました。
平成24年には、公益法人化されて現在に至っています。



会員数は平成25年10月末現在で、168名。男女の比率はほぼ同じ割合となっています。契約金額は、3千4百万円程度で、公共と民間の比率は、ほぼ同率となっているのが特徴的なところです。
事務局は3人体制。私達が日ごろ心がけていますことは、お客様に対しての親切・丁寧な対応です。併せて就業にあたり事故や怪我のないように切に願う業務を推進しています。おかげさまで今年も傷害事故は発生していません。



できうる限り町民の皆様の要望にお応えするよう努めておりますが「安全適正就業指針」にそぐわない場合にはお断りすることもあります。また、ご依頼があっても仕事の内容により即応できる会員が在籍していないためにお受けできないケースもあります。

課題としては、会員の拡大、就業機会の確保と会員の就業率の向上があります。昨年度の年平均の実質就業率は、6割弱と低くその向上に向けた取り組みが必要となっています。また、財政運営も厳しいことから、今年度からは役員報酬のカットを行い、平成26年度からは事務費のアップと会費の値上げを実施して財政の健全化を進めます。



超高齢社会は、「アクティブシニア」の時代とも言われています。まさに鳥取県内のシルバー人材センターは、団塊世代の受け皿としての存在意義は極めて大きいものと認識して、今後のシルバー運営に努めてまいりたいと思います。

会員の広場

夢中にばるいことが 元気のもと

公益社団法人

鳥取市シルバー人材センター

会員 徳田邦子

会員の皆さま こんにちは!!
私は、約七〇〇人会員の内の一人です。



入会は平成一六年(第一の人生修了してまもなく)でした。母が高齢でしたので、介護講習でも受講して万が一の時に備えておけばとの思いで説明会へ参加し入会いたしました。

女性部の中の手作り班に所属し、縫製、リサイクル小物等を会員で作り、年に一度開催される楽座楽市(五〇店位多種類の店が参加)で販売し、とても好評いただいています。

現在もファンが多く楽しみに来てくださいます。

また、女性部全体の活動としては、料理講習、シャンシャン体操、ノルディックウォーク、それから花回廊、山陰ジオパークめぐり、今年十一月には出石方面へ出向き小京都と言われる町並みを散策し歴史を思い馳せながら、新そばをいただきました。それから二月頃には寒さで硬くなった筋肉と、おもち太りを解す為にボーリングを全会員対象でいたします。皆さんワイワイキャーキャーと二十代のお嬢様のようです。夢中になっている姿を見るのは気持ちいいですね。

私個人として夢中になっていることが一つあります。それは絵手紙です。筆不精で年賀状もラブレターも書いたことない私でしたが今は無我夢中で友の



会にも加わり、北は北海道、南は沖縄の友と交流し、とても楽しく描いております。皆さんも描いてみられてはいかがでしょう?

企業訪問いたしましたもシルバーさんは元気で挨拶もよく気配りしていた、だいたいとお誉めいただきます。事故のないよう元気に活動し、何ごとも夢中になるということは我々シルバーにとつての目標です。

馬のごとく軽やかに弾んで一年また一年と人生を踏まえてまいりましょう。



会員の広場

手話勉強中です



会員 谷本 伯江

公益社団法人
倉吉市シルバー人材センター

シルバー人材センターで仕事を始めて、まだ日が浅いですが、私なりに頑張っているところで。鳥取県にて手話言語条例が決まり、手話に対しての関心が高まってきており、老人施設等でも皆さんに少しずつ教えておられ、学校でも手話を始めようとしていきます。

私が手話を勉強しようと思ったのが、勤めを辞め家に居た時、盲ろうの介助の勉強を始めた時に必要だったのが、点字、触手話、手書き文字等、色々伝達方法がありますが、他の人は手話を勉強中で、何にも分からなくもつと手話を勉強して、少しでも役に立てばと思いついたのです。

ろうの人、障害の差があり、少し話が出る人、全然言葉も出ない人、等色々とおられます。でも、皆さん積極的に外出されていて、フォーラム等にも沢山参加しておられ、私はいつも感心ばかりしていました。

去年は、入門課程、今年は、基礎と、手話の勉強には限りがない様に思います。手話は鳥取県だけのものもあり、全国的なもの、外国の手話等色々あり、ずーっと勉強しても中々覚えられないのでは、と思っています。

また、来年も頑張つて勉強を続けようと思います。



年を重ねても、何かにチャレンジすることは良いことだし、自分自身生き生きとして生きていける様に思っています。

私の趣味は色々ありますが、山に行き、花、景色が最高の時には、来て良かったなあとも思っています。

また、県内にも行きたい様な山も沢山ありますが、冬は雪が降るので県外にも行っています。皆様も、行かれてはどうですか。



趣味のひととき

花菖蒲に魅せられて



社団法人
米子広域シルバー人材センター
会員 山岡 福美子

我が家の庭には、数え切れない種類の花達が咲き、皆を楽しませてくれています。その中でも六月十日すぎから咲き始める花菖蒲に魅せられてしまいました。



二十年前、知人の庭先で花菖蒲に出合い、苗を求め、どんどんエスカレートしてしまい、現在では二百五十種類、千鉢にもなり花の好きな方が遠方や、介護施設、グループの皆様が訪ねて来られるようになり、十二年前から家を開放し皆様と抹茶を飲みながら花談義でにぎわい、ふれあいの場となり喜んでおります。



また、床の周りには皆様から頂いた花菖蒲のグッズが所狭しと並んでおり、昔懐かしい袋帯、単衣なども飾って楽しんで頂いています。こうしてきれいに咲いた花を楽しむまでには、花が終わった後すぐ植替という作業が待っています。



主人と二人では大変な作業です。鉢と苗をきれいに洗い、土も毎年替えて植えます。



知人が二人の姿を見て大変だねーとボランティアで手伝って下さいます。感謝感謝です。一年を通じて水やり、肥料やり、草取り等気持ちを入れながら世話をしています。

来年も美しい花を咲かせてくれるようお願いしながら、毎日元気で過ごしております。



新しい仲間との出会い



公益社団法人
北栄町シルバー人材センター
会員 幸田 均

シルバー人材センターの剪定班の一員として先輩方のご指導のもと、日々頑張っています。私は木工木地、和紙あかり作り、竹炭づくり、男の料理教室といろいろな趣味を持ち仲間づくりをしています。知人からすすめられどれにもはまっています。

木工木地は、主に生活雑器を作ります。完成後仲間とその時の出来具合を比べ語り合います。



2013.1



和紙あかりは、北栄町由良宿にある「遊楽隣工房」でツルで骨組し色和紙を貼り、ランプを取り付けていきます。和紙の色具合と形を楽しみます。特に夜間にあかりを点灯すると幻想的な色具合が暗闇をてらし、昔話の世界に誘われていくようです。

竹炭は、地元に繁茂している孟宗竹を切り出し、窯で一週間ほど焼いてから窯出しします。竹炭と竹酢が出来、畑の作物などに使っています。

料理教室は北栄町中央公民館の調理室で月に一回「男の料理教室」として開催され、料理作りに興味のある親爺ばかりが参加し、いろいろな料理作りに挑戦しています。作った後は出来上がった料理をみんなで楽しく語り合いながらいただきます。

私は、このように色々な趣味に挑戦し、仲間づくりをするのが大好きで、趣味として得た技術は家庭や友達にも広げ、新しい仲間づくりをとおして楽しい人生を過ごしていきたいと考えています。

シルバー人材センターで楽しく働き、いろいろな趣味を学び、心に栄養をあたえながら健康な毎日をお過ごしことを目標としています。



新春の門松設置

社団法人 米子広域シルバー人材センター

新年をことほぐ門松。今年で六回目の米子市庁舎玄関前の門松設置は、植栽班会員の発案でボランティアを始めました。この度は市役所の仕事納め一週間ほど前、天候にも恵まれこんな風に作業がはかどりました。



六〇名余りの植栽班会員のうち今回は十二名の有志参加でしたが、もちろん、この日より前に材料の孟宗竹、南天などの伐り出しや葉牡丹など手配・購入したり、また準備加工したりと、延べ二十人役以上かかったでしょう。それに資材の実費は植栽班員の協力で殆どまかさないました。

植栽班吉持弘己会長は報道の取材インタビューで「十五万人米子市民の新年が幸多かれと祈願し設置しました」の説明。ニュース放映で取組みの意気込みを伝えてもらいました。



受賞おめでとうございます

連合会 宇野治己会長 高齢者叙勲 受賞

宇野会長には長年の労働行政への貢献が認められ内閣総理大臣より「瑞宝双光章」を受賞され、平成25年6月13日鳥取労働局において伝達式がありました。



公益社団法人 鳥取県シルバー人材センター連合会 正会員名簿

名 称	代表者	〒	所 在 地	電話番号
公益社団法人 鳥取市シルバー人材センター	西根 弘康	680-0845	鳥取市富安2-104-1	0857-22-0050
社団法人 米子広域シルバー人材センター	宇野 治己	683-0811	米子市錦町1-110	0859-32-2633
公益社団法人 倉吉市シルバー人材センター	山脇 誠	682-0816	倉吉市駄経寺町2-8-1	0858-22-0870
公益社団法人 境港市シルバー人材センター	西村 岩市	684-0034	境港市昭和町11-22	0859-47-4540
公益社団法人 南部広域シルバー人材センター	安達 幸男	683-0351	西伯郡南部町法勝寺170	0859-66-4011
公益社団法人 智頭町シルバー人材センター	小林 實夫	689-1402	八頭郡智頭町智頭1795-1	0858-75-0170
公益社団法人 岩美町シルバー人材センター	谷口 幹彦	681-0003	岩美郡岩美町浦富1041-1	0857-72-2511
公益社団法人 湯梨浜町シルバー人材センター	足立 春人	682-0712	東伯郡湯梨浜町上浅津123-1	0858-35-4130
公益社団法人 琴浦町シルバー人材センター	田中 明	689-2352	東伯郡琴浦町浦安152-3	0858-52-1001
公益社団法人 北栄町シルバー人材センター	日置 勝彦	689-2103	東伯郡北栄町田井46-2	0858-36-6220
公益社団法人 大山町シルバー人材センター	近藤 昭夫	689-3332	西伯郡大山町末長269-1	0859-53-4787
一般社団法人 八頭町シルバー人材センター	衣笠 春壽	680-0463	八頭郡八頭町宮谷254-1	0858-72-3351
江府町シルバー人材センター	山本 信男	689-4413	日野郡江府町洲河崎62	0859-75-3211
日南町シルバー人材センター	和田 茂壽	689-5211	日野郡日南町生山397-1	0859-82-0223
三朝町シルバー人材センター	馬野 忠嗣	682-0152	東伯郡三朝町本泉359-1	0858-43-1883

表紙のことば

三徳山三佛寺投入堂

(みとくさんさんぶつじなげいれどう)

三徳山三佛寺は標高九〇〇メートルの三徳山に境内を待つ山岳寺院です。その奥院である投入堂は垂直に切り立った絶壁の窪みに建てられた他に類を見ない建築物で、国宝に指定されています。詳しい建造時期ははっきりとしていませんが、修験道の開祖、役小角が法力で建物ごと平地から投げ入れたという伝承が語り継がれています。



投入堂からの風景

会報 鳥取 第28号
平成26年1月発行

発行：公益社団法人 鳥取県シルバー人材センター連合会
所在地：〒683-0812 鳥取県米子市角盤町1丁目76
電話：0859-37-2531
FAX：0859-37-2537